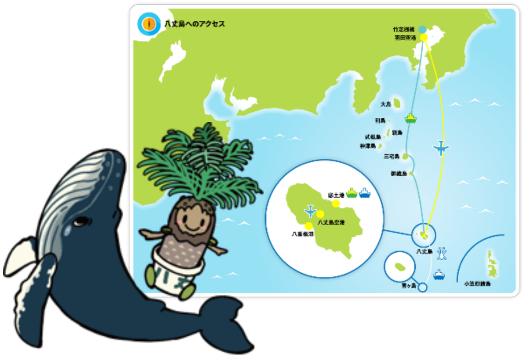
令和８年度　八丈町校長会



Ⅰ　活動方針・重点事項等

〇八丈町立小学校教育の振興及び充実･発展
〇教職員の資質の向上を図る研修･研究活動の推進
〇教育環境に係わる条件整備の充実の推進

Ⅱ　活動・取組

１　経営研修

学校経営を担う人材育成を目指し、選考の時期に合わせて実施

（１）開講式　令和８年５月２６日（火）　講話：八丈町教育委員会　教育長
　　　　対象：副校長、教育管理職選考受験者、任用審査対象者、校長職候補者選考受験者
（２）論文指導　町内の校長が担当して実施　（経営研修担当が担当の割り振りを計画）
（３）面接指導　受験者につき２回実施　　受験時期に合わせて設定　（７月～10 月）
（４）閉講式　令和８年１２月　　　　　　講話：教育庁八丈出張所　副所長

２　コミュニティ・スクールの充実

令和７年度で町立小中学校すべての学校がコミュニティ・スクールとなった。コミュニティ・スクールとしての取組の充実のため、地域・保護者への理解を進め、学校運営協議会が学校運営に効果的に機能するようにしていく。

３　小中一貫型教育の推進

（１）学園（１小学校１中学校で学園を構成している）交流の実施
　　地域の特色を生かした連携の工夫と保育園・高等学校との連携
（２）町教育研究会での小中連携した研究活動
　・小中学校の教員で部会を組織、都立八丈高等学校・都立青鳥特別支援学校八丈分教室の教員も賛助会員として参加
　・一斉部会は年間３回実施、小中９年間において育む資質・能力を視点とする。

Ⅲ　地区の特色

東京から南約 290km に位置し伊豆諸島の中で南から２番目に位置する。一年を通して温暖で、雨が多く「常春の島」として知られるが、昨年１０月に襲来した台風では、島の景色や環境等が一変する大きな被害が発生し、学校も被害を受けた。「八丈ブルー」と呼ばれる透明度の高い美しい海や山々の自然を守りながら、激甚災害からの復興・復旧に取り組んでいる。

晩秋から春先にかけて見られるザトウクジラについては、日本鯨類研究所による生態調査が続いている。その期間は連日、陸上からもホエールウォッチングができる。ユネスコが認定した世界消滅危機言語の１つ八丈方言を継承するための教育活動も大きな特徴の一つである。年１回開催される八丈方言大会には、小中学生も参加している。

長野県木島平村立木島平小学校・八丈町立小学校３校・青ヶ島村立青ヶ島小学校の５校の５年生の児童が交流活動を行っており、米の栽培・八丈島での交流・木島平村でのスキー・そりの交流を行っている。八丈町立小学校３校の６年生が合同で開催している遠泳は、海難救助隊・警察・港湾・漁協関係者等多くの皆様が協力してくださり、安全に実施できている。